

No.10K0005

2010年7月20日

株式会社 アイ・エス・レーティング

1. 格付結果

企業名	大日本印刷株式会社
格付の種類	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000270107C1001
格付スコープ	蕨工場における情報処理サービスに関わる設計・開発及び製造
格付対象	I P S 事業部 システム開発本部／製造本部 における I P S (Information Processing Services) 関連部門
想定リスク	情報漏えい
格付符号	AAA is (トリプルA)
格付の方向性	新規格付
有効期間	2010年 7月20日から2011年 7月19日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはなりません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 I.S.Rating All rights reserved.

2. 格付理由

大日本印刷株式会社（以下、DNP社）は、1876年（明治9年）、日本で最初の本格的な印刷会社「秀英舎」として誕生し、現在、事業領域は出版印刷や商業印刷にとどまらず、パッケージや建材、エレクトロニクス、情報記録材、エネルギー、ライフサイエンス分野に至っている。

事業ビジョン「P&I ソリューション」に基づき、永年培ってきた印刷技術（Printing Technology）と最新の情報技術（Information Technology）を融合させ、さまざまな産業の課題を解決してきた知識やノウハウを活かして、21世紀の創発的な社会に対して新しい価値を生み出すソリューションを提供している。また、情報セキュリティ、個人情報保護への取り組みについては、P&I ソリューションを推進するなかで、個人情報や顧客からの預かり情報などの情報資産の保護を当然の責務と考え、グループ全体で、情報セキュリティおよび個人情報保護を経営の重要課題のひとつとして捉え、体制の強化や社員教育などを通じて、厳密な管理を維持・継続して取り組んでいる。

IPS事業部は企業・団体等からデータ提供された個人情報を個別に印字し、郵便の形態に仕上げて発送する業務が中心である。蕨工場の格付対象範囲における重要情報資産としては、顧客からの預かり情報（個人情報など）であり、サーバおよびデータ保存媒体に格納されているシステム内の情報、ならびにこれらのシステムから出力される各種帳票等が主なものである。外部認証として、プライバシーマークの他、ISO/IEC27001を取得しており、蕨工場においては、毎年、多数の委託元により外部審査が実施されている。継続的に是正改善がPDCAサイクルに基づき実施され、非常にレベルの高いマネジメントシステムが構築されている。

マネジメント成熟度の観点から見れば、情報セキュリティ委員会を中心とした情報セキュリティ管理体制が構築され、情報セキュリティ管理規程、個人情報保護規程のもと、各種規程類が整備され、セキュリティ教育、アセスメント、監査・自己点検・物理的なアクセス管理等で非常に高いレベルで管理が進められている。

2007年3月、同社内他部門において業務委託をうけて預かっていた個人情報の一部が、業務委託先の元社員によって不正に持ち出された事故を受け、情報セキュリティ管理体制の見直しを行い、個人情報管理体制の強化に努め、グループ会社全体への展開を進めている。

セキュリティ対策の強度の観点から見れば、高セキュリティ区画への入退管理は厳格に運用さ

れ、警備員による監視、動線を意識した多数の監視カメラの設置、また、ICカード認証や共連れ防止設備に加え、外来者も含めポケットレスの制服の着用など、悪意の外部者はもちろん、悪意のある内部者に対しても発見的・抑止的・防止的効果を発揮した高い管理策が施されている。

総じて、マネジメント成熟度では、リスクアセスメントの実施から改善への継続的なプロセスを有し、高水準の管理状態を維持・発展させている。またセキュリティ対策強度では、悪意のある外部者・内部者に対する管理策が非常に高いレベルで講じられていると評価できる。

以上